

平成30年1月24日

東部農林振興センター 松江農業普及部

標 題

湖北WCS生産組合総会が開催されました。

(ダイジェスト)

1月15日に、JAしまねくにびき地区本部古江支店において、第7回湖北WCS生産組合総会が開催され、H29年産WCSロールの生産・販売実績、次年度の生産計画（63ha）などが承認されました。H29年産栽培面積は64haと前年（70.3ha）より約10%減となっていました。単収が向上したため約200ロール多い5,000ロールが生産されたこと、WCSを給与している畜産農家の評価もよく全量販売先が決まっていること等の報告がありました。

湖北WCS生産組合（以下生産組合）の第7回の総会が、1月15日JAしまねくにびき地区本部古江支店で開催されました。

総会では、H29年産の栽培・販売状況の報告と、H30年の生産計画の提案があり、全て承認されました。主な内容は、H29年産は約5,000ロールが生産され、ほぼ全量販売先が決まっているとのこと、H30年の生産計画はH29年産とほぼ同面積の63haが予定されているなどでした。

普及部からは、早生から晩生までのWCSの生育指導、刈り取り時期の判断をする水分分析等の報告、畜産農家のWCS利用状況や評価を聞き取った視察研修等の報告を行いました。



組合員と購買者の意見交換風景

また、12月には、生産組合長と事務局とともに、管外の畜産農家等を訪問し、WCSの評価や次年産の取引についても意見交換をしました。特に、当生産組合WCSの品質は、管外畜産農家から高く評価されていることを感じました。

その他、従来実施しているWCSと堆肥の取引については課題もあり、2～3の販売先に対して、新たな耕畜連携について提案をしました。

その結果、畜産農家から条件が合えば、さらに耕畜連携（WCSと堆肥のやりとり）を進めてもよいとの返答をいただいたことから、普及部としては、雲南事務所と新たな広域連携の取り組みを検討することとしています。